

「英語でジョブチャレンジ2024」について

1 目的

都立高校生が、英語を実践的に活用する機会やキャリアプランについて考える契機とするとともに、世界を視野に活躍する意識の向上や、英語への学習意欲の向上を図る。

2 概要

①グローバルなオフィスで
英語の世界を訪問

②英語を使って世界と
つながる仕事を体験

③ビジネスパーソンと話して
将来の自分をイメージ

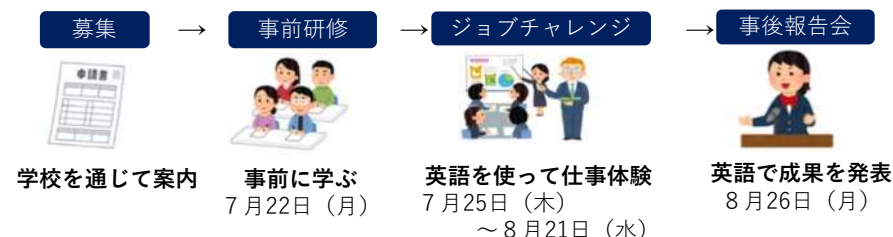
○対象

都立高等学校及び都立中等教育学校（後期課程）に在籍する生徒

○仕事体験の実施内容

- ・ 1企業・団体につき 1日又は 2日
- ・ オフィスタワー、仕事体験・見学、社員との意見交換、ディスカッションなど

○事業の流れ



3 実施状況

○募集定員(152人)に、約1.6倍の申込
(応募 53校 243名)

41校 139人が参加
(1年:48人 2年:69人 3年:22人)

○受入先 **21企業・団体** ※以下、受入先企業名・団体名（生徒人数）

大使館・国際機関	カナダ大使館（8）、ニュージーランド大使館エデュケーション・ニュージーランド（5）、ブリティッシュ・カウンシル（3）、UN Women（国連女性機関）日本事務所（9）
教育・出版	テンプル大学ジャパンキャンパス（5）、読売新聞東京本社（4）、Lakeland University Japan（6）
IT/サービス	日本IBM（10）、楽天グループ（株）（5）、大手外資系IT企業（10）
観光・航空	（株）京王プラザホテル（3）、ザ・ペニンシュラ東京（3）、Boeing Japan（株）（4）
金融・証券・保険	AIG損害保険（株）（5）、BNPパリバ・グループ（10）、バンク・オブ・アメリカ（8）
建設	鹿島建設（株）（9）、（株）竹中工務店（4）
メーカー・商社	キヤノン（株）（9）、（株）クボタ（10）、丸紅（株）（9）

4 取組内容

<事前研修 7月22日(月)>

- **ビジネスマナー研修／ビジネス英語研修**
- **グループワーク**
 - ・ 受入先に関する情報収集・共有
 - ・ グローバルに活躍する企業等の社員に必要なものについて討議



ビジネスマナー研修



ビジネス英語研修



グループワーク

<仕事体験 7月25日(木)～8月21日(水)>

- **会社概要説明・オフィスツアー**
- **仕事体験、会議同席、海外とのオンライン会議出席**
(イベント準備・運営補助、ショールーム案内、英文記事作成など)
- **海外駐在経験者や海外出身者、役員等との意見交換**
- **英語によるディスカッションやプレゼンテーション**
(テーマ：SDGs、日本の強み、新商品、海外戦略など)



大学卒業式の運営補助



海外支社とのオンライン会議



プレゼンテーション

<事後報告会 8月26日(月)>

- **グループ毎にプレゼン資料作成・英語で発表、振り返り・共有**
 - 「仕事体験から学んだこと」
 - 「グローバルに活躍する際に必要な力」
 - 「参加した企業等の一員としてチャレンジしたいこと」
- **受入先から生徒にフィードバック**



発表準備



学んだことを発表

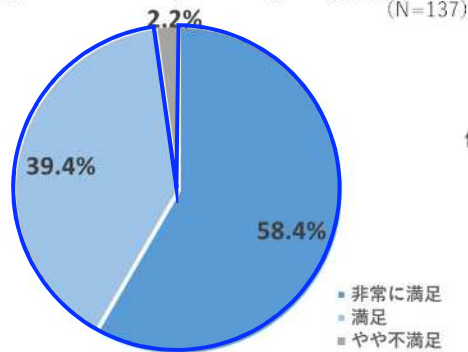


受入先からフィードバック

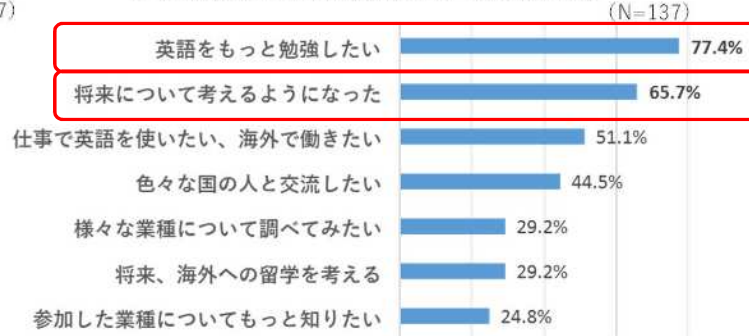
5 成果

- プログラムを通じて、生徒は「**グローバルに活躍する際に必要な力**」として、以下の力が必要なことを認識している。
英語力・コミュニケーション力・表現力・多様な視点・他者を尊重・多文化理解・チャレンジ・笑顔・課題解決力
- 本事業の**満足度は高く**、生徒の**約8割が英語学習への意欲を高め**、**約7割が将来のキャリアプランについて考える契機**としている。
- 受入先のビジネスパーソンとの交流や他校の生徒との協働により、**他者理解や多文化共生への理解を深めている**。

◆「英語でジョブチャレンジ」の満足度



◆参加を通じた意識の変化（複数回答）



◆参加して良かった点（複数回答）



参加生徒の声

(事後報告会の発表より)

- ・ 将来の新しい選択肢について考えられるようになったし、世界規模で見る視野が広がった。
- ・ 多国籍の人が働いているので、色々な文化を理解する必要があると思った。
- ・ 海外での仕事では、コミュニケーションが大事だと感じた。
- ・ 実用的な場で英語を使うことができ、様々な背景を持つ人と考えを共有することができた。

受入企業・団体の声

- ・ 高校生の段階からこのようなプログラムがあると、英語の必要性が理解できて良い。
- ・ 若手社員のアウトプットの機会となって、刺激になる。
- ・ 大人では考えつかないような若い感性の発想が参考になった。
- ・ 高校生向けプログラムを作ることで、社内の教育プログラムをブラッシュアップできた。

取組の紹介

各企業・団体での仕事体験を詳しく紹介

<https://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/jobchallenge/>

